

決算概要

2020年11月19日

常務取締役 経営企画本部長

余語 岳仁

目次

新型コロナウイルスの事業への影響	2
2020 年度 2Q 連結業績	3
損益比較 為替影響控除	4
事業セグメント別 売上高・営業利益	5
セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）	6
セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）	7
セグメント業績 - ②医薬関連事業	8
セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業	9
セグメント別製品群の売上高	10
製品分類表	11
製商品別売上高（連結）	12
地域別売上 売上高・構成比	13
為替感応度	14
販売費および一般管理費	15
設備投資額・減価償却費（連結）	16
主要会社別 期中の設備投資	17
中期経営計画における主要 KPI - ①	18
中期経営計画における主要 KPI - ②	19

新型コロナウイルスの事業への影響

製造・購買・物流

インド(ダイアライザ工場) : ロックダウンの影響で低下していた稼働率は90%に回復し、
停滞していた新規ラインの追加工事は8月に再開

上記以外の国内外工場 : 通常稼働

販売

透析用医療機器 : ダイアライザは好調も透析装置が減少
循環器用医療機器 : 7月から9月の国内症例数は対前年90~95%で推移し、カテーテルが減少
外科用医療機器 : 補助人工心臓の増加は継続
医療用消耗品 : 北中南米での手袋・マスク・検査キットなどの増加は継続
自社医薬品 : 風邪薬(外来患者減)、抗菌薬(手術件数減)などが減少
受託医薬品 : 先発品/長期収載品、OTC品が減少
ファーマパッケージング : 米国・欧州にてワクチン向けバイアルと生地管が増加

臨床試験

臨床試験の実施や承認申請への大きな影響はなし

国産・医療用高性能マスク(N95相当)の共同開発を発表(2020年9月2日)

国立循環器病研究センター・クロスエフェクト・ダイキン工業・ニプロで共同開発



ニプロハートライン(オンライン診療・オンライン服薬指導)(2020年9月30日)

「災害時孤立地域への医療提供をテーマとした遠隔医療の実証実験」に提供



2020年度2Q 連結業績

(億円)

	2019年度 2Q	2020年度 2Q	増減額	増減率	2020年度 予想※1)	進捗率
売上高	2,226.6	2,222.5	△4.1	△0.2%	4,525.0	49.1%
売上原価	1,559.4	1,538.0	△21.4	△1.4%	3,130.0	49.1%
売上総利益 ※2)	667.2 30.0%	684.4 30.8%	+17.2	+2.6%	1,395.0	49.1%
販売管理費	539.4 24.2%	539.1 24.3%	△0.3	△0.1%	1,130.0	47.7%
営業利益	127.7 5.7%	145.3 6.5%	+17.6	+13.8%	265.0	54.8%
経常利益 ※3)	98.8 4.4%	125.0 5.6%	+26.2	+26.5%	248.0	50.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	58.8 2.6%	54.7 2.5%	△4.1	△7.0%	135.0	40.5%
IFRSに準拠した場合の 当期純利益(概算額)	75.2	70.0	△5.2	△6.9%	169.6	41.3%

(※2) 未実現利益消去額

2019年度2Q 17.9億円

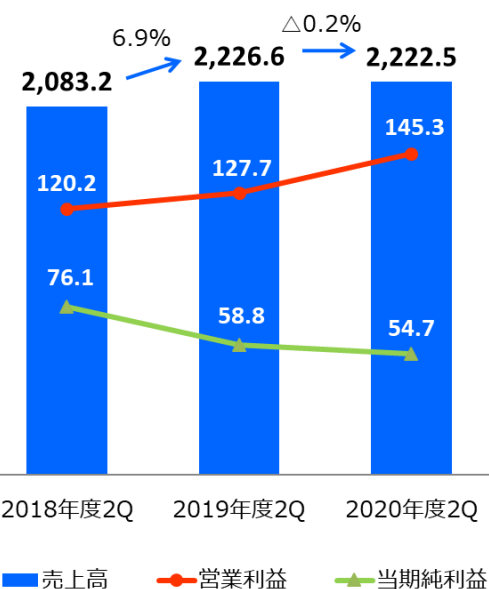
2020年度2Q 3.2億円

(※3) 為替差損

2019年度2Q 29.5億円

2020年度2Q 10.7億円

- **売上高** 新型コロナウイルスの影響を受けるも、前年と同水準で推移
- **営業利益** 製造原価の低減や未実現利益消去額の減少により増益
- **経常利益** 営業利益の増加と為替差損の減少により増益
- **当期純利益** 投資有価証券の売却で特別利益が発生するも、米国での訴訟に関する特別損失を計上したため、対前年で4.1億円の減益



(※1)2020年11月に見直し

損益比較 為替影響控除

(億円)

	2019年度 2Q 【a】	2020年度 2Q 【b】	為替の影響 (※1) 【c】	為替影響控除後 2020年度 2Q 【d=b-c】	増減額 【d-a】	増減率 【d÷a】
売上高	2,226.6	2,222.5	△25.7	2,248.2	+21.6	+1.0%
売上原価	1,559.4	1,538.0	△11.2	1,549.2	△10.2	
売上総利益	667.2	684.4	△14.5	698.9	+31.7	+4.8%
(%)	30.0%	30.8%		31.1%		+1.1%
販管費	539.4	539.1	△6.2	545.3	+5.9	
営業利益	127.7	145.3	△8.3	153.6	+25.9	+20.3%
(%)	5.7%	6.5%		6.8%		+1.1%
営業外収益	24.4	24.3		24.3	△0.1	
営業外費用	53.2	44.6	△18.8	63.4	+10.2	
経常利益	98.8	125.0	+10.5	114.5	+15.7	+15.9%
特別利益	2.6	4.8		4.8	+2.2	
特別損失	2.2	34.7		34.7	+32.5	
税引前利益	99.2	95.0	+10.5	84.5	△14.7	△14.8%
法人税等	37.7	37.1	+3.2	33.9	△3.8	
非支配株主に 帰属する純利益	2.6	3.1		3.1	+0.5	
当期利益	58.8	54.7	+7.3	47.4	△11.4	△19.4%

(※1) 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算

期中平均レート	2019年度 1~6月	2020年度 1~6月
1 USD	109.97	108.24
1 EUR	124.07	119.40
1 中国元	16.23	15.32

事業セグメント別 売上高・営業利益

			【増減額】	【増減率】	(億円) 【20年度予想】
売上高					
医療関連事業	2020年度 2Q	1,675.3	△6.7	△0.4%	3,425.0
	2019年度 2Q	1,682.1			
医薬関連事業	2020年度 2Q	345.3	△11.2	△3.2%	703.0
	2019年度 2Q	356.5			
ファーマシューティング事業	2020年度 2Q	199.8	+12.7	+6.8%	393.5
	2019年度 2Q	187.1			
営業利益					
医療関連事業	2020年度 2Q	204.8	+13.0	+6.8%	386.0
	2019年度 2Q	191.7			
医薬関連事業	2020年度 2Q	52.4	△8.4	△13.8%	99.0
	2019年度 2Q	60.8			
ファーマシューティング事業	2020年度 2Q	9.8	+4.8	+96.0%	18.0
	2019年度 2Q	5.0			

- **医療事業** 国内は透析機器・カテーテル類・自社ジェネリック医薬品がコロナの影響から、売上・利益ともに減少。海外はコロナの影響を受けるも、北中南米での手袋・マスク・検査キットの販売が増加したことにより、売上・利益ともに増加。
- **医薬事業** コロナの影響で風邪薬と抗菌薬の販売が減少し、営業利益は自社品の在庫の評価損の影響も受けてさらに減少。
- **ファーマシューティング事業** 米国・欧州でのワクチン向けバイアルと生地管の販売増加により、売上・利益ともに増加。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

(億円)

			【増減額】	【増減率】	【20年度予想】
医療関連事業 (全体)	2020年度 2Q	1,675.3	△6.7	△0.4%	3,425.0
	2019年度 2Q	1,682.1			
国内事業	2020年度 2Q	913.8	△37.3	△3.9%	1,899.0
	2019年度 2Q	951.1			
医療機器	2020年度 2Q	517.2	△24.0	△4.4%	1,087.0
	2019年度 2Q	541.2			
医薬品	2020年度 2Q	396.6	△13.2	△3.2%	812.0
	2019年度 2Q	409.8			
ダイアライザ	2020年度 2Q	110.2	+4.3	+4.1%	224.0
国内 売上高	2019年度 2Q	105.9			

- ▶ **医療機器** ダイアライザ・補助人工心臓の販売は増加したが、コロナの影響で透析装置(買い替え時期の延期)・カテーテル(手術件数減少)の販売が減少。
- ▶ **国内医薬** コロナの影響で経口剤(風邪薬など軽症者向け医薬品)・注射剤(手術に使用する抗菌剤など)の販売が減少。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）

(億円)

			【増減額】	【増減率】	【20年度予想】
国際事業	2020年度 2Q	722.6	+18.0	+2.6%	1,449.0
	2019年度 2Q	704.6			
OEM	2020年度 2Q	93.6	△11.8	△11.2%	198.0
	2019年度 2Q	105.4			
ニプロブランド	2020年度 2Q	629.0	+29.8	+5.0%	1,251.0
	2019年度 2Q	599.2			
アメリカ	2020年度 2Q	275.6	+29.2	+11.9%	544.0
	2019年度 2Q	246.4			
ヨーロッパ	2020年度 2Q	177.9	+8.9	+5.3%	334.0
	2019年度 2Q	169.0			
アジア	2020年度 2Q	109.9	△0.4	△0.4%	219.0
	2019年度 2Q	110.3			
中国	2020年度 2Q	65.4	△8.0	△10.9%	154.0
	2019年度 2Q	73.4			
ダイアライザ	2020年度 2Q	248.0	△2.0	△0.8%	492.0
海外売上高	2019年度 2Q	250.0			

➤OEM セーフタッチPSVの販売が減少。

➤自社 ロックダウンの影響から、中国でダイアライザ等の販売が減少。
北中南米での手袋やマスク・検査キットの販売が増加。

セグメント業績 - ② 医薬関連事業

		(億円)		
		【増減額】	【増減率】	【20年度予想】
医薬関連事業	2020年度 2Q	345.3		
	2019年度 2Q	356.6	△11.3	△3.2%
				703.0

< 受託品売上高内訳 >

ジェネリック品	2020年度 2Q	203.3			
	2019年度 2Q	208.5	△5.2	△2.5%	412.5
先発品 長期収載品	2020年度 2Q	124.4			
	2019年度 2Q	129.3	△4.9	△3.8%	253.0
OTC 原薬他	2020年度 2Q	17.6			
	2019年度 2Q	18.7	△1.1	△5.9%	37.5

- ジェネリック品 リュープロレリンの新ラインの立ち上げ遅延により販売が減少(下期には解消見込み)。
- 先発/長期収載品 薬効分類問わず全体的に注文が減少したことで販売が減少。
- OTC/原薬 OTCの貼付剤の注文が減少したことで販売が減少。

セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

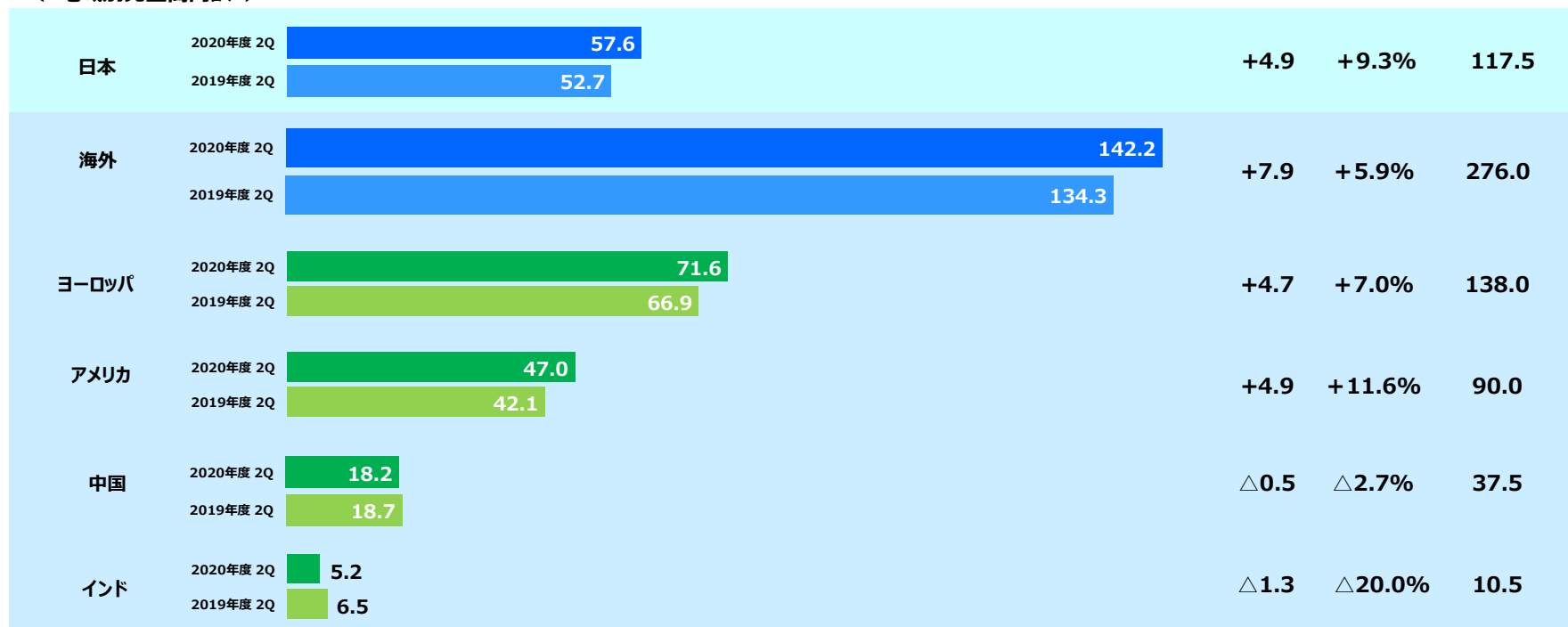
(億円)

【増減額】 【増減率】 【20年度予想】



+12.7 +6.8% 393.5

< 地域別売上高内訳 >



➤日本 ワクチン向けバイアルの販売が増加。

➤海外 ロックダウンの影響からインドで販売が減少するも、米国・欧州でのワクチン向けバイアルと生地管の販売が増加。

セグメント別製品群の売上高

(億円)

製品	セグメント	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパケ ージング事業	その他 事業	合計	対前年増減額 (増減率)
医療機器		1,227.7	0.0	(※3) 14.7	0.0	1,242.4	1.6 (0.1%)
医薬品		(※1) 441.9	(※2) 345.3	1.5	0.0	788.7	△18.9 (△2.3%)
ファーマパッケージング		0.1	0.0	182.8	0.0	183.0	+10.9 (+6.3%)
その他		5.5	0.0	0.7	2.0	8.3	+2.2 (+36.3%)
合計		1,675.3	345.3	199.8	2.0	2,222.5	△4.1 (△0.2%)
対前年増減額 (増減率)		△6.7 (△0.4%)	△11.2 (△3.2%)	+12.7 (+6.8%)	+1.1 (-)	△4.1 (△0.2%)	

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連製品	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカヌー 他
検査製品	ネオチューブ、採血針 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（ブローバック、スクルー、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子その他など

製商品別売上高（連結）

(億円)

事業分類		全社				海外				日本			
		2019年度 2Q	2020年度 2Q	増減額	増減率	2019年度 2Q	2020年度 2Q	増減額	増減率	2019年度 2Q	2020年度 2Q	増減額	増減率
[医療機器]	ダイアライザ	355.9	358.2	+2.3	+0.7%	250.0	248.0	△2.0	△0.8%	105.9	110.2	+4.3	+4.1%
	透析機器	113.4	88.8	△24.6	△21.7%	56.3	47.1	△9.2	△16.3%	57.1	41.7	△15.5	△27.0%
	その他透析関連製品	142.7	148.7	+6.0	+4.2%	107.3	112.2	+4.8	+4.5%	35.3	36.5	+1.2	+3.5%
	透析関連製品計	612.1	595.9	△16.2	△2.7%	413.7	407.4	△6.3	△1.5%	198.4	188.4	△9.9	△5.0%
	注射針類	175.9	170.3	△5.6	△3.2%	106.8	105.0	△1.8	△1.7%	69.1	65.2	△3.9	△5.6%
	バスキュラー関連製品	147.2	129.4	△17.8	△12.1%	17.3	14.4	△2.9	△16.8%	129.9	115.0	△14.9	△11.5%
	輸液関連製品	76.1	73.0	△3.1	△4.0%	22.1	23.6	+1.5	+7.0%	54.0	49.4	△4.6	△8.5%
	検査製品	50.4	50.0	△0.4	△0.8%	34.9	34.5	△0.4	△1.1%	15.4	15.4	△0.0	△0.3%
	糖尿病関連製品	45.6	42.4	△3.2	△7.0%	36.7	33.7	△3.0	△8.1%	8.9	8.6	△0.3	△2.9%
	SD関連製品	15.8	19.6	+3.7	+23.3%	4.8	2.2	△2.7	△54.6%	11.0	17.3	+6.4	+57.7%
	その他	116.8	159.4	+42.6	+36.5%	56.1	96.2	+40.1	+71.5%	60.6	63.1	+2.5	+4.1%
	部 門 計	1,240.3	1,240.2	△0.1	△0.0%	692.7	717.4	+24.7	+3.6%	547.6	522.8	△24.8	△4.5%
[医薬品]	経口剤	364.8	352.6	△12.2	△3.4%	17.1	19.8	+2.8	+16.2%	347.7	332.7	△15.0	△4.3%
	注射剤・輸液	336.4	329.5	△7.0	△2.1%	24.2	25.8	+1.7	+6.9%	312.2	303.6	△8.6	△2.8%
	外用剤・貼付剤	48.7	51.1	+2.4	+5.0%	0.1	1.5	+1.3	+750.8%	48.5	49.6	+1.1	+2.2%
	その他・体外診断薬 等	57.6	55.4	△2.1	△3.7%	1.5	1.1	△0.3	△21.8%	56.0	54.3	△1.8	△3.2%
	部 門 計	807.6	788.7	△18.9	△2.3%	43.0	48.4	+5.5	+12.7%	764.6	740.2	△24.4	△3.2%
【ファーマ パッケージング】	生地管関連	47.1	49.0	+1.9	+4.0%	36.1	37.7	+1.6	+4.4%	11.0	11.3	+0.3	+2.6%
	アンブル硝子	19.8	19.5	△0.3	△1.6%	19.7	19.4	△0.3	△1.6%	0.0	0.0	+0.0	+7.1%
	バイアル硝子	54.5	62.1	+7.6	+14.0%	48.0	52.9	+4.9	+10.2%	6.4	9.2	+2.7	+42.4%
	シリンジ硝子	21.8	23.5	+1.7	+7.8%	21.6	23.5	+1.9	+8.6%	0.1	-	△0.2	△100.0%
	ゴム栓・栓体類	8.4	9.3	+1.0	+11.4%	2.4	2.8	+0.5	+18.7%	5.9	6.4	+0.5	+8.4%
	プラスチック容器	9.3	9.6	+0.3	+3.4%	0.8	0.7	△0.1	△9.2%	8.5	8.9	+0.4	+4.6%
	魔法瓶	3.0	2.0	△1.0	△33.7%	-	-	-	-	3.0	2.0	△1.0	△33.7%
	その他	7.9	7.6	△0.3	△3.4%	6.1	5.7	△0.4	△7.0%	1.7	1.9	+0.2	+9.1%
	部 門 計	172.1	183.0	+10.9	+6.3%	135.0	143.0	+8.0	+5.9%	37.0	39.9	+2.9	+7.9%
[再生医療]	再生医療等製品	0.4	2.1	+1.7	+394.5%	-	-	-	-	0.4	2.1	+1.7	+394.5%
[その他]	生産機械販売・不動産賃貸	6.0	8.3	+2.2	+36.3%	4.1	5.6	+1.5	+36.8%	1.9	2.6	+0.7	+35.2%
	連結合計	2,226.6	2,222.5	△4.1	△0.2%	874.9	914.6	+39.7	+4.5%	1,351.7	1,307.9	△43.8	△3.2%

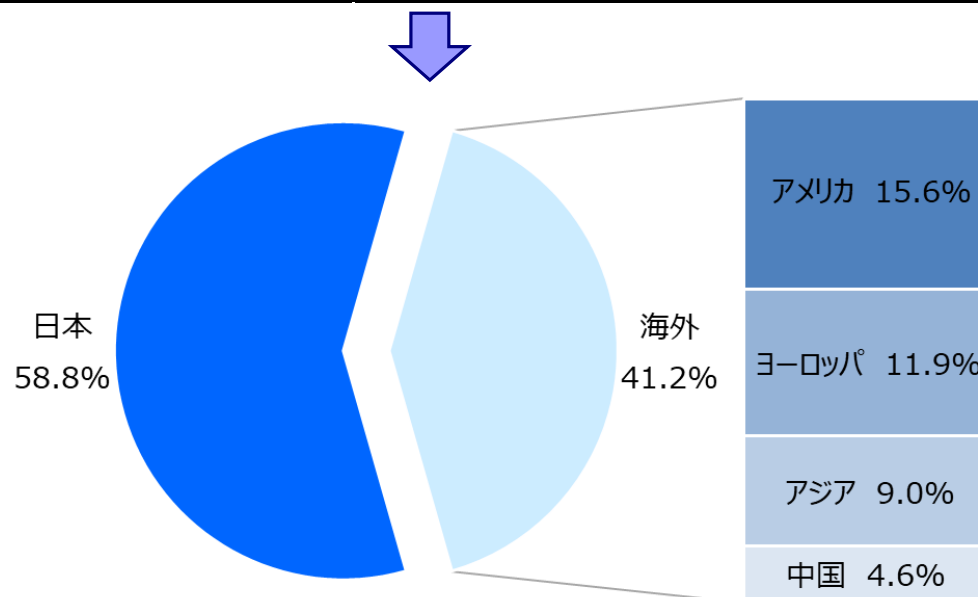
地域別売上 売上高・構成比

(億円)

【地域別売上高】

	2019年度 2Q	2020年度 2Q	増減額	増減率	2020年度 予想
日本	1,351.7	1,307.9	△43.8	△3.2%	2,712.0
海外計	874.9	914.6	+39.7	+4.5%	1,813.0
アメリカ	320.1	346.5	+26.4	+8.2%	681.0
ヨーロッパ	260.2	264.9	+4.7	+1.8%	427.0
アジア	184.7	201.1	+16.4	+8.9%	478.0
中国	109.8	102.0	△7.8	△7.1%	227.0
合計	2,226.6	2,222.5	△4.1	△0.2%	4,525.0

【地域別売上構成比】



為替感応度

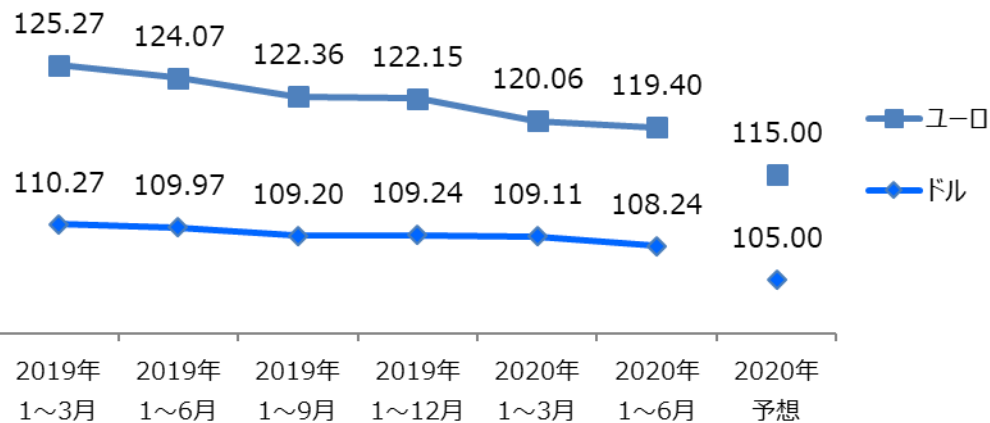
【1円変動による年間影響額】

(億円)

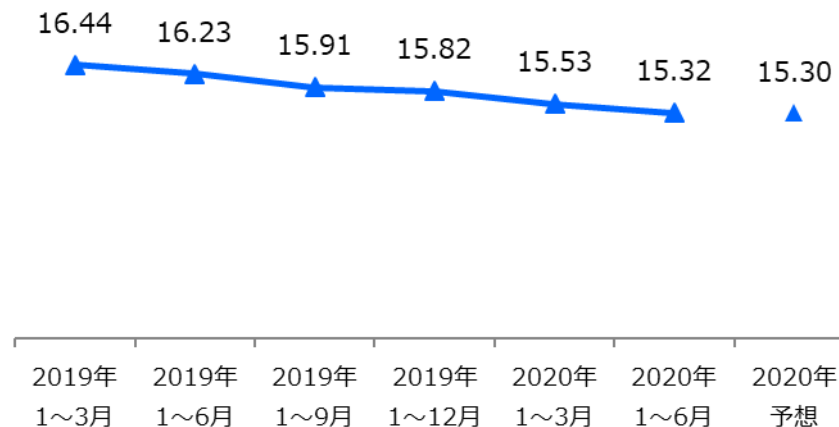
	ドル	ユーロ	元
売上高	4.1	1.0	13.9
営業利益	0.3	0.4	8.8

【期中平均レート】

ドル・ユーロ



元



販売費および一般管理費

【販売費および一般管理費】

(億円)

項目	2019年度 2Q	2020年度 2Q		増減	増減率
		実績	構成比		
人件費	172.9	176.7	32.8%	+3.8	+2.2%
旅費交通費	24.1	12.2	2.3%	△11.9	△49.4%
販促費(※1)	35.5	33.6	6.2%	△1.9	△5.4%
物流費(※2)	62.3	63.4	11.8%	+1.1	+1.8%
研究開発費	86.5	88.1	16.3%	+1.6	+1.8%
償却費(※3)	42.7	48.6	9.0%	+5.9	+13.8%
その他	115.2	116.2	21.6%	+1.0	+0.9%
合計	539.4	539.1	100.0%	△0.3	△0.1%

(※1) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

(※2) 運送費・保管料

(※3) 減価償却費・のれん償却費・開発償却費

➤ 販売費および一般管理費

旅費交通費 出張の自粛により削減
 販促費 営業活動の縮小により削減
 償却費 再生医療研究所の開発装置と
 中南米での透析センター買収に
 伴うのれん償却の増加

➤ 研究開発費

前年と同水準で推移

【研究開発費(連結)】

(億円)

	2019年度 2Q	2020年度 2Q	2020年度 予想
医療	45.8	48.8	81.0
医薬	40.6	39.2	91.5
合計	86.5	88.1	172.5

設備投資額・減価償却費（連結）

(億円)

	設備投資額（※）			減価償却費		
	2019年度 2Q	2020年度 2Q	2020年度 予想	2019年度 2Q	2020年度 2Q	2020年度 予想
医療関連	116.7	68.8	353.0	81.8	88.7	171.5
医薬関連	36.4	55.1	181.0	57.9	58.7	127.0
ファーマパッケージング	37.4	19.4	40.0	21.6	20.3	38.0
その他	126.8	7.2	22.0	20.9	24.3	53.5
合計	317.4	150.7	596.0	182.4	192.2	390.0

(※) 設備投資額は検収ベース

➤ 設備投資額

新型コロナウイルスの影響でインドのダイアライザ製造ラインの工期遅れが発生し、投資額が大きく減少。下期には工期遅れが解消されるものの、年間の投資額は期初の通期予想から30億円程度減少する見込み。

➤ 減価償却費

再生医療事業と中南米の透析センター買収に伴うのれんの償却費が対前年で増加。

主要会社別 期中の設備投資

(億円)

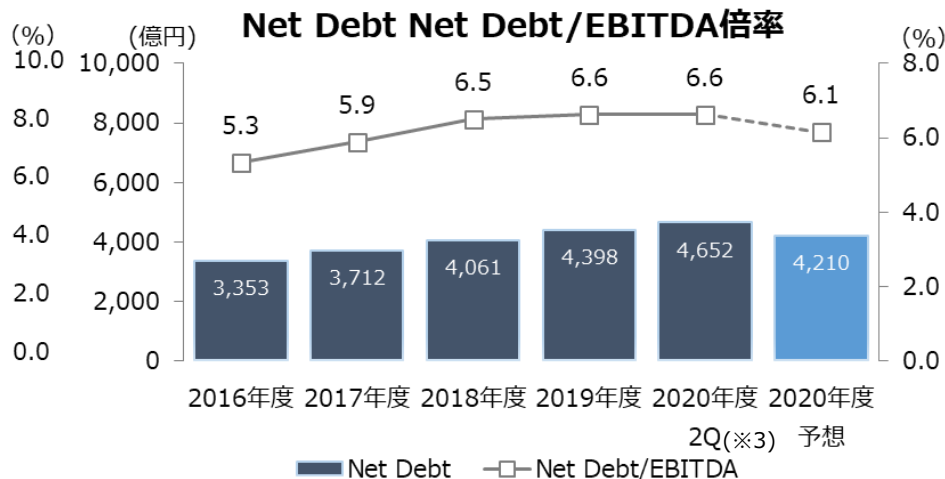
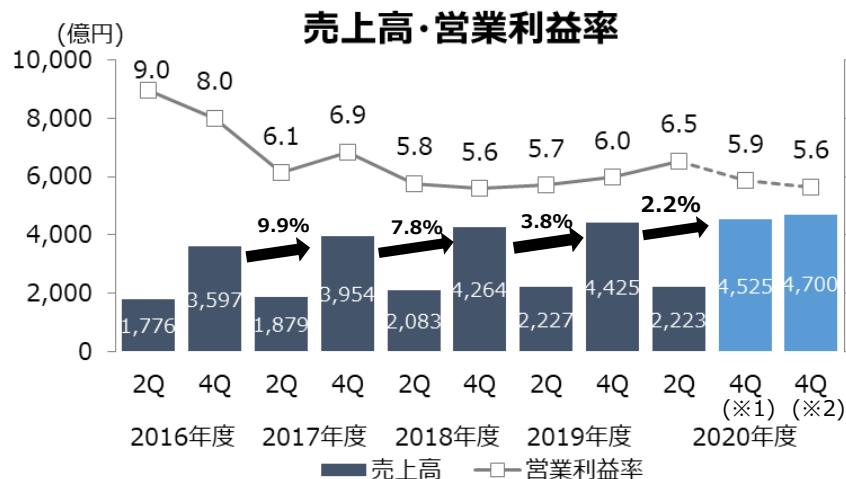
会社名	金額	主な内容
ニプロ（株）	20.4	愛知工場 4.7 ベスキチン製造設備 大館工場 2.9 ダイアライザ関連設備 東京大学・ニプロ研究開発センター 3.1 研究設備
ニプロファーマ(株)	48.0	伊勢工場 13.4 QC棟実装工事 等 大館工場 9.5 シリンジ組立機 等 鏡石工場 11.0 第一固形剤棟増築部生産設備 等 埼玉工場 12.4 錠剤用UVレーザーマーキング装置 等
ニプロメディカルコーポレーション	20.3	透析機械および透析施設
ニプロファーマパッケージングジャーマニー	12.2	バイアルおよびシリンジの製造設備
全星薬品工業	7.1	和泉工場 3.5 第4ライン建設工事 等 岸和田工場 1.3 製造設備
ニプロタイランドコーポレーション	6.0	組立機・チューブ巻き取り機、フィルター組立・プレス機 等

中期経営計画における主要KPI - ①

2024年度に向けたガイドライン

成長性	売上高成長率	年平均7.0%以上
収益性	営業利益率	9.0%以上

財務健全性	EBITDA純有利子負債倍率	4倍台
-------	----------------	-----



➤ 売上高

2016年度から2019年度までの売上高年平均成長率は7.2%。2020年度は為替の影響を加味し6.2%成長と予想していたが、2020年度上期実績では新型コロナウイルスの影響を受け、前年と同水準の売上高。2020年度の売上高着地見込みは2.2%増の4,525億円に変更。

➤ 営業利益率

2020年度上期実績では売上高が伸び悩んだものの、製造原価の低減により営業利益が増加したため、営業利益率が6.5%へ向上。2020年度の営業利益率着地見込みは下期に販促費と研究開発費の増加を見込み、5.9%に変更。

➤ 純有利子負債

2019年度まで設備投資の増加により純有利子負債額は増加傾向。2020年度上期はこれまで同様設備投資の増加により純有利子負債は増加したが、下期は利益増により純有利子負債減少を目指す。

➤ Net Debt/EBITDA倍率

2019年度まではEBITDAの増加以上に純有利子負債が増加したことによりEBITDA倍率は増加傾向。2020年度上期は純有利子負債、EBITDAがともに同程度増加したため、前年と同水準の倍率。

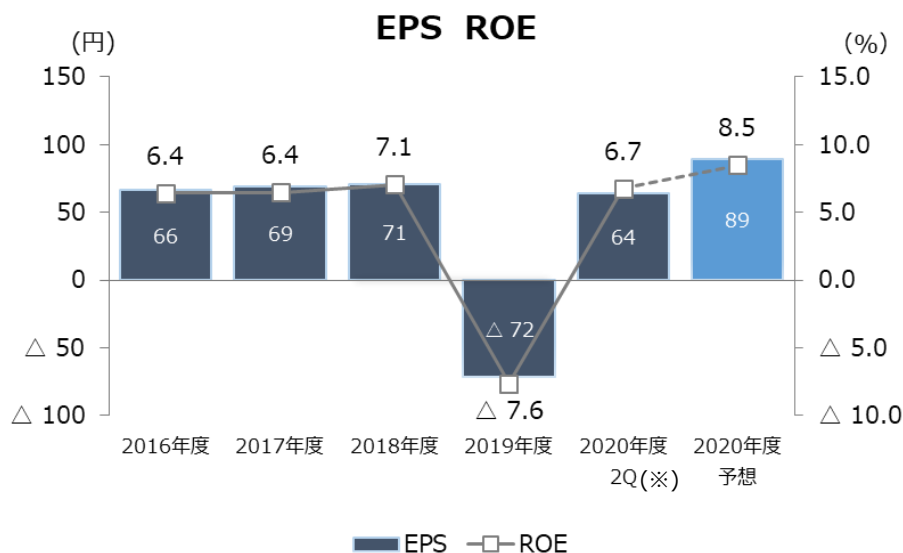
(※1)修正予想 (※2)期初予想

(※3)EBITDAは2020年度上期実績を年間換算

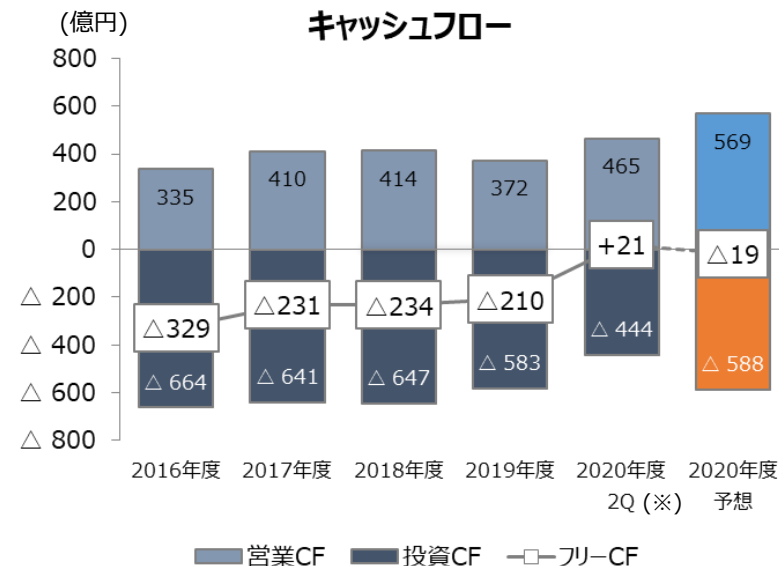
中期経営計画における主要KPI - ②

2024年度に向けたガイドライン

資産効率 ROE 14.0%



投資効率 フリーキャッシュフロー 黒字化



➤ ROE

2020年度上期は営業利益が好調と為替差損の影響が小さかったことから経常利益は対前年26億円の増加となったが、米国での訴訟に関する特別損失と固定資産の除却損を計上したため、当期純利益が対前年で4億円の減少。これによりEPSが年間換算で64円、ROEは6.7%と今期の通期予想を下回る進捗。

通期では、上期同様の経常利益を見込みんでおり、EPS89円、ROE8.5%を予想。

➤ フリーCF

2020年度2Q時点でフリーCF黒字化を達成。

受取手形および売掛金の流動化、決算賞与の不支給、法人税の還付などにより営業CFが増加したこと、投資有価証券の売却などにより投資CFが減少したことで、フリーCFは黒字となった。

(※)2020年度上期実績を年間換算



本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。

